

子どもを真ん中においた施策推進及びSDGs推進に係る事業連携・協力に関する協定

主催：門真市

1.取組タイプ		2.取組目的・概要	3.活動開始時期	4.取組規模(会員数)
I	会議体			
II	登録・認証制度	平成29年10月に活動開始した地域で支援が必要な子どもや保護者を発見し、支援につなげるための地域見守り体制を担うボランティア「子どもの未来応援団員」の連絡用スマートフォン対応アプリケーションの開発	協定締結日：令和元年12月24日	子どもの未来応援団員：1,326人 参考：門真市人口 121,110人 (令和2年6月時点)
III	拠点の設置			
○IV	協定締結			
V	その他			

5.取組の詳細

【協定経緯】

- ・平成28年に「門真市子どもの生活に関する実態調査」を実施した結果、相対的貧困率が府内平均14.9%に比べ16.4%と高く、子どもの貧困が深刻な状態であることが把握された。
- ・これを受け、平成29年10月から大阪府のモデル事業として「門真市子どもの未来応援ネットワーク事業」を実施。
- ・事業概要は、研修を受講した市民等で構成され地域で子どもを見守る「子どもの未来応援団員」が子ども等の情報を行政に設置された子どもの貧困対策専門チームの「子どもの未来応援チーム」へ提供し、チームが情報を精査した後に子ども等へアウトリーチ支援を行うもの。
- ・応援団員からの「連絡をやすくしてほしい」等の連絡手段の要望に応えるため、令和元年11月に市が主催した「子どもを真ん中においたネットワークフォーラム」に参加したSDGs事業を展開する「株式会社Drop」にアプリケーション開発について意見交換を行い、同年12月に協定を締結した。

6.取組の活動予定・スケジュール

【今後の活動】

- ・随時：子どもの未来応援団員がアプリ経由で連絡
- ・随時：子どもの未来応援団員スキルアップ研修会でアプリの紹介、説明
- ・随時：応援団員養成出張研修でアプリの紹介、説明

7.関連するゴール



8.取組イメージ

① 困っている子ども、保護者を発見したらアプリの「緑のスピーカーボタン」

② 情報は、「子どもの未来応援チーム」へ届き、チームが学校や市役所の情報を収集・統合し、ケースシートにまとめます。シートの情報をもとに、ケース会議を開き、その子ども、保護者等にどのような支援が必要か検討し、支援を実施します。

「連絡」ページへ入ってください。

←令和2年3月9日 朝日新聞

協定締結の様子→

関連URL

門真市子どもの未来応援ネットワーク事業Webページ：<https://www.city.kadoma.osaka.jp/kosodate/kosodate/9121.html>
 株式会社Drop Webページ：<https://drop.ne.jp/service/web-app/> SDGs情報ページ：<https://sdgs.media/>